

令和 6 年 5 月 2 0 日

広報広聴委員長 様

令和 6 年度米子市議会「議会報告会・意見交換会」

に係る意見交換会報告書

1 班 班長 渡辺 穰爾

米子市議会議会報告会・意見交換会開催要項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

テーマ	これからの住民自治と公民館のあり方を考えよう
参加者数	議員 9 名 ・ 一般 1 7 名 合計 2 6 名
主な意見等	公民館は誰でも出かけても良い場所にする交流できる場づくり。 公民館は機能集いの場。機会がないと集まれないとおもっていたが自由に使える場だとわかった。 限られた方が集い多様な住民が使いづらい。ふらっと寄れる感じが ない。 イベントがなくても集まれる公民館になってほしい。 公民館は開催時間が限られ会社員等利用しづらい。地域のこどもの居場所づくりに活用してほしい。 公民館で勉強しやすい環境づくりをしてほしい Wifi を。 公民館も土日開けてほしい。高齢化による参加者の減少。 自治会活動をする方が少なくなり、公民館の支援にも支障を来している。 自治会加入率の問題。子ども会加入率の問題。 自治会活動の目的を知ること自治会とは何か？参加することが大切。 役員の担い手が不足している。高齢化・若い世代がいない。 中高生と地域の人の関わり場がない。人と人のつながりの希薄化。 住宅の増加が多く近所の繋がりが少ない。
所 見	公民館と自治会については、校区における差がある。人口が増加傾向にある地区は人と人との繋がりの希薄化が問題であり、限られた人が公民館活動・自治会活動に支障が出ている。逆に高齢化による人口減少をしている地区は参加者が減少している。 公民館に人が集うためには、施設の改修、利用時間の変更、土日の開館などの要望が多い検討が必要だと感じた。